

# 戸塚・大久保地区中学校 適正配置協議会だより

平成15年10月3日

NO.4

去る9月19日大久保中学校で第4回の協議会が開催されました。はじめに事務局から1校案についての検討結果の説明がありました。続いて協議に移り、1校案の是非について各校のPTA会長のご意見を伺ったところ、中学校は反対、小学校は賛成と二分されました。さらに各中学校の地域、同窓会関係者から反対の意見が相次ぎ、1校案は協議会の総意とは見なされず、当初の2校案に戻って協議を進めることとなりました。

その後組合せの協議に戻りましたが、すでに1校案の是非についての意見の中でA案に賛成される方が多く、他に強い反対意見がなかったことから、A案の戸塚一中と戸山中、東戸山中と大久保中の組合せに合意されました。

また、統合新校の校地は戸塚一中と大久保中、統合の時期は平成17年4月と合意されました。

次回から協議会は統合の組合せによって2つの部会に分かれて協議を進めていく予定です。

協議事項	主な内容
1校案の検討結果について (事務局説明)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒数が600～650人と予測され、適正規模(12～18学級)になるかの判断が必要。</li> <li>今後、他地区の統廃合に与える影響の判断が重要。</li> <li>説明会を改めて行う必要がある。</li> <li>代替用地がなく、新校校地となる学校のみ3年早く閉校する必要があり、不平等になる。</li> <li>新校舎建設費用は通常の1.5～2倍程度。ランニングコストは削減される。</li> </ul>
1校案の是非について	<b>【賛成意見】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の減少が続く中、2校にして何年か後にまた1校に統合するようでは経費の無駄になる。通学に不安はあるが、バスや地下鉄13号線が使えるならよい。</li> <li>2校では大久保小の学区が2つの中学校に分かれてしまう問題が解消されない。戸塚一中だと遠くなるが、熱意のある先生が多いとか良い学校であれば遠くても行くだらう。</li> <li>PTA役員会や学年会で話し合ったが、4校を1校にするなら新しい中学校に行ってもいいという意見が多かった。公立離れを止めるためにも1校がいいのではないか。</li> </ul>
	<b>【反対意見】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>1校の場合、新校がどこになっても遠くの生徒は他校に流れるだろう。それでは地元の子供も仲間割れすることになりかねない。地元の子供も一緒に通える2校案(A案)に賛成。将来大規模マンションができたりして1校では足りなくなることも考えられる。</li> <li>運営委員会で話し合った。理想としては1校かもしれないが、用地がなく1校だけ先に閉校しなければならない等、不安材料が多く、それがクリアされないと賛成できない、2校案のA案に賛成という結論になった。 もし事務局からその不安が解消される話があれば、またPTAに持ち帰って皆で考えたい。</li> <li>運営委員会で話し合い、2校の方が子ども達の負担が少なく、学校運営上もいいだろう、将来1学年2クラスになってしまうかも知れないが、魅力ある良い学校を造っていけば、私立に行く子ども達を呼び戻していくことができるということで、2校案のA案に賛成することになった。</li> <li>PTAで説明会を開いて話し合った結果、2校がよいということになった。組合せはA案でもいいが基本はB案。</li> </ul>
合意事項	<b>【統合の組合せ】</b> 戸塚一中と戸山中、東戸山中と大久保中
	<b>【新校校地】</b> 戸塚一中と大久保中
	<b>【統合の時期】</b> 平成17年4月

【事務局】 教育環境整備課 TEL (3341) 4358 FAX (3341) 9955  
E-mail kyoikukankyo01@city.shinjuku.tokyo.jp